

間取りはゾーニングと動線で考える

●プランの土台づくりにゾーニングを

ゾーニングとは、住まいの空間を構成している玄関、トイレ・浴室などの水回り、キッチン、和室、リビングなどをおおまかに配置しながら、自分のイメージを形にしていくことです。

まず、紙に敷地と道路、周辺環境を書き込み、駐車スペースを決めます。その後、玄関、階段、リビングなどと、使い勝手を考慮しながら描いていきます。一つできたら次は違った置き方をしてみ、部屋から部屋への動きやすさを見てみます。

このような住まいの中で家族の動く線を動線と言いますが、動線が長い間取りは使いにくいばかりか、居住空間も広く取れなくなります。特にキッチン、ダイニングなどの家事動線は、水回りを集中させるなどして効率のよいプランになるよう、何回もゾーニングを繰り返し試して工夫しましょう。

●出来上がった図面のチェック

設計事務所、またはハウスメーカーや工務店から上がってきたプラン（図面）をチェックするのも重要なポイントです。まず最初に、道路と建物との関係をチェックします。実際に住んだことを想定して、玄関や駐車場、庭などのスペースを確認し、日当たり、風通し、隣地との関係も、満足できるものかどうかを調べます。

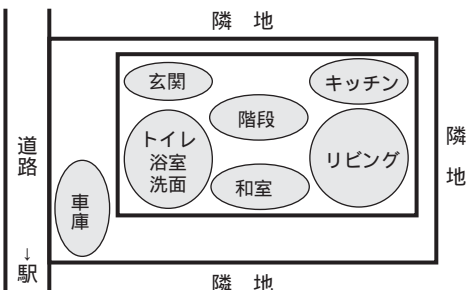
次は居住部分のチェックです。注文通りに設計されているかどうか、収納スペースが十分あるのか、家族みんなにやさしい間取りか、などを入念に確認します。

このとき、実際に入れる予定の家具や大きい電化製品などを図面上に書いてみると、住んでからのスペースをイメージすることができます。こうすれば、こんなに狭かったのかというような失敗や後悔を事前に防ぐことができます。プランのチェックには念入りに時間をかけて、満足のいくマイホームを手に入れましょう。

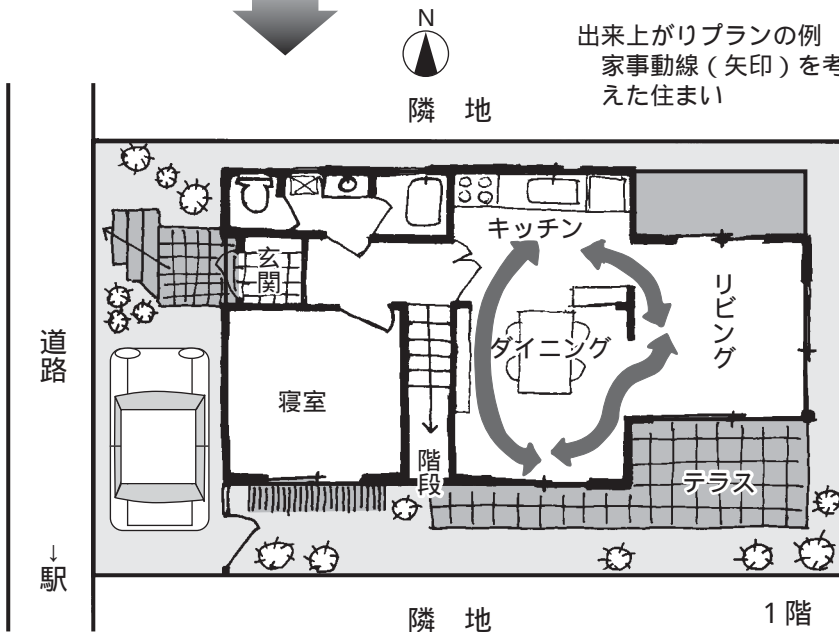
プランのゾーニング

ゾーニング

各部屋をゾーンごとにまとめて紙の上に描いていく。



出来上がりプランの例
家事動線（矢印）を考えた住まい



●建築家や業者にプランを依頼する前にやること

- ① 住まいについての考えはそれぞれ違う。家族で話し合い、意見をまとめておく。
- ② 外観、インテリア、部屋数、部屋の大きさなどが決まりイメージが出来上がったなら、資料を集める。
- ③ 建て替えの場合は、いままでの家での不満について、部屋ごとのチェック表を作ってみる。